

泌尿器科

I 経験、習得すべき事項

(1) 頻度の高い症状

血尿	排尿困難	腎仙痛	頻尿
----	------	-----	----

(2) 緊急を要する症状・病態

急性尿閉	尿路外傷	尿路結石	急性陰嚢症
------	------	------	-------

(3) 経験が求められる疾患・病態

尿路性器癌	尿路感染症	前立腺疾患	神経因性膀胱
-------	-------	-------	--------

II 当診療科における研修の特徴

- 1) 泌尿器科医師として、指導医と一緒に入院患者を担当し、患者や家族との良好な関係を築き、適切なインフォームド・コンセントを行う姿勢を身につける。
- 2) 緊急性を有する泌尿器疾患（尿路結石、尿閉、急性陰嚢症など）に対する検査・診断手技（検尿、腹部超音波検査など）を習得し、基本的な対処を実施する。
- 3) 膀胱尿道内視鏡、尿路造影、排尿動態検査等、専門的検査を指導医と共に経験し、その結果・所見の読影法を学ぶ。
- 4) 基本的な経尿道的手術、開放小手術の手技を経験し、内視鏡操作や外科手術（縫合、結紮）の基本手技を習得する。
- 5) 開放手術、腹腔鏡手術に助手として参加し、手術方法を理解するとともに、周術期管理を行う。